

令和元年 月 日

関係各位

公益財団法人原子力安全研究協会
国際研究部

原子力規制庁

平成 31 年度「放射線安全規制研究戦略的推進事業費
(放射線防護研究分野における課題解決型ネットワークと
アンブレラ型統合プラットフォームの形成) 事業」
放射線防護に関する国際動向報告会
開催のご案内 (案)

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

当原子力安全研究協会の諸活動に関しましては、平素より種々ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

当協会では、原子力規制庁の「放射線防護研究分野における課題解決型ネットワークとアンブレラ型統合プラットフォームの形成」の一環として、産学連携による放射線防護の課題解決に向けた議論を行い、異分野間での議論を可能にするアンブレラ型統合プラットフォーム (以下「アンブレラ」という。) を形成するため、標記報告会を実施いたします。

つきましては、本情報提供会に関係者の皆様のご参加を賜りますよう、お願い申し上げます。

敬具

記

1. 主 催： 原子力規制委員会、国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構
2. 対 象： アンブレラ関係者
3. 募集人員： 100 名程度
4. 日 時： 令和元年 12 月 24 日 (火) 10:00～16:00
5. 場 所： グランパークカンファレンス 401 ホール
(東京都港区芝浦 3-4-1 田町グランパーク プラザ棟 3 階・4 階)

6. 参加料：無料

7. プログラム：

テーマ「実効線量と実用量—改定の概要となお残る課題—」

10:00	開会 原子力規制庁 大熊一寛課長
10:05	講演「ICRP 主委員会における最近の検討状況」 講師：甲斐 倫明（大分県立看護科学大学）
10:25	講演「ICRP 第1専門委員会における最近の検討状況」 講師：酒井 一夫（東京医療保健大学）
10:45	講演「ICRP 第4専門委員会における最近の検討状況」 講師：伴 信彦（原子力規制委員会）
11:05	休憩（10分）
11:15	講演「ICRP 第2専門委員会における最近の検討状況」 （キーノートとして、新しい線量概念の概要を含む） 講師：佐藤 達彦（日本原子力研究開発機構）
11:55	休憩（70分）
13:00	パネルディスカッション 「実効線量と実用量—改定の概要となお残る課題—」 ファシリテーター：[ICRP/MC]甲斐 倫明（大分県立看護科学大学） パネリスト： [IAEA/RASSC] 川口 勇生（量子科学技術研究開発機構） [ICRU] 黒澤 忠弘（産業技術総合研究所） [UNSCEAR] 古渡 意彦（日本原子力研究開発機構） [ICRP/C1] 酒井 一夫（東京医療保健大学） [ICRP/C2] 佐藤 達彦（日本原子力研究開発機構） [ICRP/C4] 伴 信彦（原子力規制委員会） [ICRP/C4] 本間 俊充（原子力規制庁）
16:00	閉会 高橋 知之 プログラムオフィサー（京都大学）

※ プログラムは現時点のものであり、変更が生じる可能性があります

8. お申込み方法：

別紙の参加申込書に必要事項を記入の上、本情報提供会事務局（公益財団法人原子力安全研究協会 国際研究部）へ、FAX もしくは email にてお申し込みください。

参加お申込み締切 令和元年 12月 9日（月）

9. 注意事項：

- ・ ホール内での飲食は可能ですが、ホワイエ等の共用部分でのご飲食は禁止されています。
- ・ 当該施設は禁煙です。指定の喫煙所以外での喫煙はできません。
- ・ 当日は公共交通機関をご利用の上お越しく下さい。

以 上

【お問合せ先（事務局）】

公益財団法人原子力安全研究協会 国際研究部
住所：105-0004 東京都港区新橋 5 丁目 18 番 7 号
TEL：03-5470-1983 FAX：03-5470-1991
otsu@nsra.or.jp（大津）